

単元名

どんな動きができるかな

1 授業づくりの考え方

単元の捉え方

低学年の体づくりの運動遊びでは、「体ほぐしの運動遊び」及び「多様な動きをつくる運動遊び」で構成され、体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、伸び伸びと体を動かしながら、様々な基本的な体の動きを身に付けることを主なねらいとする運動遊びである。

低学年では、体ほぐしの運動遊びや多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知り、自己の心と体の状態に気付いたり、みんなで関わり合ったりするとともに、様々な基本的な体の動きを楽しく経験することにより、動きの幅を広げ、中学年の体づくり運動の学習につなげていくことが求められる。

児童の実態

体育に関するアンケートでは、全員が「体育が好き」と回答しており、運動有能感も全体的に高い。統制感（がんばればできる！）の肯定的な割合も高い。しかし、身体的有能さの認知（私はできる！）のアンケート項目では、「運動の上手な見本として、よく選ばれる」と感じる児童の割合がやや低い傾向があった。指導に当たっては、児童のアイデアや工夫点を個人から全体へ共有するなど、児童の受容感（みんなから認められている）を高める場面を多く取り入れる必要がある。

指導の工夫

① ゴール・問いのある授業づくり

- ・「元気っすタイム（業間体育）で自分たちが考えた運動遊びを全校児童に教え、チャレンジしてもらおう！！」というファイナルタスクを設定することで、教師から教えられた一つの運動遊びを自分たちで、さらに楽しいと思えるオリジナルルールに変更し、考えた運動遊びを他の人に教える喜びを味わい、主体的に学習に取り組める課題にする。
- ・動きを動画に撮り、はじめと終わりでその成長を視覚的に実感できるようにする。
- ・導入では、動きが1度でも成功できるように取り組み、展開では、段々と成功のコツを見出し成功率を上げる工夫を考えさせる。

② 効果的な場やルール・教具等の工夫

- ・できそうな運動遊びや、友達と一緒にやると楽しい運動遊びを選んだり、運動遊びをする場や使用する用具を変えながら楽しくできる遊び方を選んだりできるようにする。
- ・ボールやなわ、フープ、風船といった操作しやすい用具を用い、大きさ、柔らかさ、重さ等を工夫する。

③ 認め高め合う集団づくり

- ・友達と関わり合う中で、意見を出し合い尊重し合うために、教師が肯定的声掛けを率先して行う。
- ・ICTを用いて、友達の動きと自分の動きを比較させ、「できる」ための成功のコツを話し合う。
- ・友達の動きから見つけたよい動きや、行ってみたいと感じた運動遊びの行い方を伝え合う。
- ・掛け声やハイタッチなど、「できた！やったー！！」を表現させる動作を取り入れる。
- ・振り返りでは、友達の動きを見てすごいと思ったことや真似したいと思ったことを記述、発表させる。

2 単元構想図（全 11 時間）

最適解・納得解が更新され続ける問い（本質的な問い）
人間は、どんな動きができる？

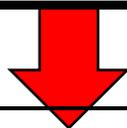
単元を貫く問い
みんなで体を動かす楽しさや心地よさを味わうには？

単元の目標

知識及び運動	・多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知るとともに、体のバランスをとる動き、体を移動する動き、用具を操作する動き、力試しの動きをして遊ぶことができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	・多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに、友達のよい動きや楽しい遊び方など、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	・多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 体ほぐしの運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。	① 体ほぐしの運動遊びで、心と体の変化に気付いたり、工夫したりした楽しい遊び方を友達に伝えている。	① 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組もうとしている。
② 多様な動きをつくる運動遊びの行い方について、言ったり実際に動いたりしている。	② 楽しくできる多様な動きをつくる運動遊びを選んでいる。	② 順番やきまりを守り、誰とでも仲よくしようとしている。
③ 体のバランスをとる動きをして遊ぶことができる。	③ 多様な動きをつくる運動遊びで、友達とよい動きを見付けたり、工夫した楽しい遊び方を友達に伝えたりしている。	③ 場の安全に気を付けている。
④ 体を移動する動きをして遊ぶことができる。	④ 今まで学習したことを生かしながら、自分なりの体の動かし方や友達との関わり方を考えて活動している。	
⑤ 用具を操作する動きをして遊ぶことができる。		
⑥ 力試しの動きをして遊ぶことができる。		



時数	本時のめあて	授業の概要	めざす児童イメージ	評価の重点（方法）		
				知・技	思・判・表	主体
ファイナルタスク 元気っずタイム（業間体育）で考えた運動遊びを全校生徒に教え、チャレンジしてもらおう！！						
1	心地よくからだをほぐすには？	体ほぐしの運動遊びの行い方を知る。	体ほぐしの運動遊びの行い方を知り、みんなで体ほぐしの運動遊びを行うことができる。	① (観察)		

2	友だちとくふうしてなかよくからだをほぐすあそびをしよう。	体ほぐしの運動遊びの遊び方を工夫し、みんなで仲良く遊ぶ。	体ほぐしの運動合遊びを工夫の仕方を知り、友達の良い動きを見付けたり、考えたりしたことを伝えることができる。		① (観察)	
3	バランスをとれるかな？	多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知る。 ・バランスをとる運動遊び	片足で立つことを保てたり、いろいろな向きに寝転んだり起きたりすることができる。	②③ (観察・ICT)		
4	どんないどうのし方があるのかな？	多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知る。 ・移動する運動遊び	いろいろな線の上を歩いたり、片足で跳んだり(ケンケン)することができる。	④ (ICT)		① (観察)
5	どうぐをつかうと、どんなうごきができるかな？	多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知る。 ・用具を操作する運動遊び	ボールやフープをいろいろな方法で操作することができる。	⑤ (観察)	② (観察)	
6	じぶんの力はどのくらい？	多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知る。 ・力試しの運動遊び	友達をおんぶしたり、腕立ての姿勢で自分の体を支えたりすることができる。	⑥ (観察・ICT)		
7	友だちとバランスをとるには？	友達と一緒に動きを工夫する。 ・バランスをとる運動遊び	友達とタイミングを合わせて立ったり座ったりすることができる。 手押し相撲をしてバランスをとることができる。	③ (観察・ICT)		① (観察・カード)
8	友だちのまねをするには？	友達と一緒に動きを工夫する。 ・移動する運動遊び	友達の真似をしながら走ったり跳んだりすることができる。	④ (ICT)		② (観察・カード)
9	うけとりゲームをもっとたのしむには？ 【本時】	友達と一緒に動きを工夫する。 ・用具を操作する運動遊び	友達と用具を用いた動きを成功させるためのコツを見付け、体や言葉で表現することができる。		③ (観察)	
10	ともだちときょうりょくするには？	友達と一緒に動きを工夫する。 ・力試しの運動遊び	友達をおんぶしていろいろなコースを歩いたり、手押し相撲をして力試しをしたりすることができる。	⑥ (観察・ICT)		① (観察)
11	ならったことをつかって、たのしくからだをうごかすには？	まとめ ・元気っすタイムに向けてコツを思い出しながら練習する。	学習したことを活用しながら、自分たちで発表内容を考え練習する。		④ (観察・ICT)	

3 本時の展開

(1) 本時の目標

多様な動きをつくる運動遊びで、友達とよい動きを見付けたり、工夫した楽しい遊び方を友達に伝えたりすることができるようにする。

(2) 本時の評価規準

多様な動きをつくる運動遊びで、友達とよい動きを見付けたり、工夫した楽しい遊び方を友達に伝えたりしている。(思考・判断・表現③)

(3) 準備物

・新聞紙 ・カラーコーン ・マット ・カラーテープ ・風船

(4) 展開 【第9時／11時間】

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て	評価☆ [評価方法]
[] は、児童の気づき			
ファイナルタスク			
① 元気っずタイム（業間体育）で考えた運動遊びを全校生徒に教え、チャレンジしてもらおう！！			
導入	<p>(1) 準備体操を行う。 ○色んな猛獣になりきって、体をほぐそう！</p> <p>(2) 前回のあそびである新聞受け取り遊びを思いだし、感想を言う。</p> <p>[] ・もっと簡単にしてみたい。 ・もっと難しくしてみたい。</p>	<p>◆本時の流れを提示する。 ◇ハエ、カンガルー、オットセイになり切って体をほぐす。</p> <p>◇成功したらハイタッチなどをして友達と喜びを分かち合う指導をする。</p> <p>◇前回の2人組での児童の動画を流す。</p>	
展開	<p>(3) めあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><u>本時のめあて</u> うけとりあそびをもっとたのしむために、どんなくふうができるかな？ (ともだちとしっかりつたえ合おう。)</p> </div> <p>(4) 4人組で、①簡単にする工夫 ②難しくする工夫を考え実践してみる。</p> <p><u>かんたんに</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと近づいてやってみよう。 ・新聞紙から風船にかえてみよう。 ・風船を投げて落ちるまでに受け取ろう。 <p><u>むずかしく</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人数を増やしてやってみよう。 ・距離を遠くしてやってみよう。 ・新聞を細くしてやってみよう。 ・左回りでやってみよう。 	<p>(3) めあてを確認する。</p> <p>◇何でもつかってボックス(丸い風船、細長い風船、短い新聞棒、太い新聞棒、細い新聞棒)を用意し、各組1種類の用具を用いて良いことを伝える。</p> <p>◆指導者が、さらに工夫できる動きや遊び方を提示する。</p> <p>◆アイデアを指導者が提示する。</p> <p>◇動きに工夫をくわえている児童を取り上げて称賛する。</p>	

	<p>(5) 各組で簡単すぎず、難しすぎず、面白いと思えるオリジナルルールを実践しながら考える。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・風船を上に向けて1ターンしてから受け取り合おう。 ・4人組で左回りにやってみよう。 </div>	<p>◇何でもつかってボックスを活用しつつ、色々実践してみようと伝える。 ◆他のチームに、遊び方が説明ができるように指導者とともに練習する。 ◇動画を撮ったりホワイトボードにルールを書いたりして動きやルールを班で確認するよう指導する。</p>	<p>☆多様な動きをつくる運動遊びで、友達とよい動きを見付けたり、工夫した楽しい遊び方を友達に伝えたりしている。 (思考・判断・表現③) 【観察】【発言】</p>
<p>ま と め</p>	<p>(6) 考えた遊び方を発表し、他のチームに実践してもらい、やってみた感想を聞く。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と一緒に工夫すると、もっと楽しくなるね。 ・左回りで回るのが、簡単そうで難しいから面白かった。 ・この遊び方だと難しすぎるから、距離を近くにしてみてくださいたらどうかな。 </div> <p>(7) 振り返りをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・チームで話し合うことでコツを見つけられた。 ・風船にしたら簡単になった。 ・今度は、距離を遠くしてやってみたい。 </div>	<p>◇実際に、チームで動いて発表させる。 ◇他のチームの遊び方を実践してみた感想やアドバイスを尋ねる。</p> <p>◇以下の3つの質問を示し、振り返りを記入させる。自由記述では、具体的に考えたことなどを記述させる。 ①もっと面白くするための工夫を見つけられたか。②友だちとしっかりと話し合うことができたか。③また、やってみたい遊び方が見つかったか。</p>	

5 活用するワークシートや活動のルール等について

<単元を通して活用するワークシート>

体づくりうんどうあそび（ふりかえり）⑤

Q1 もっとおもしろくするくふうを見つけることができた？

できた（3こいじょう）

できた（2こ）

できた（1こ）

できなかった（0こ）

Q2 友だちとしっかり話し合うことができた？（何こでもえらべるよ）

複数選択

自分から話かけることができた

友だちのいけんをしっかり聞くことができた

話しあって考えをふかめることができた

おもしろいアイデアを思いついた

なかなか話し合うことができなかった

Q3 またやってみたいあそび方が見つかった？

たくさん見つかった

1つか2つみつかった

みつからなかった

Q4 どんなあそびを元気づけタイムで教える？

回答を送信する